

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。 <http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

新型コロナウイルス感染症に関する情報

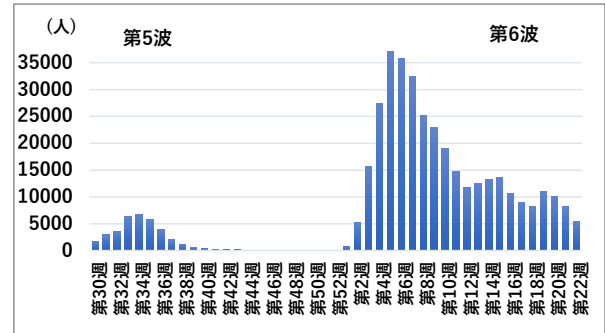
兵庫県内の新型コロナウイルス新規感染者数は今週 **5,374人** (先週 **8,150人**) で、対先週比 0.66 倍となり、減少傾向が継続しています。

オミクロン株による第6波は、ピーク時には1日あたり6,000人以上もの多くの新規感染者があり、厳しい状況にありましたが、かなり減少してきました。基本的な感染症対策の徹底や、3回目のワクチン接種者の増加によるものと考えられます。しかし、

まだ連日数百人の新規感染者が報告されており、油断できない状況です。引き続き3密の回避(ゼロ密)、適切なマスクの着用、手洗い、換気等基本となる感染防止対策の徹底をお願いします。また、4回目のワクチン接種、特に重症化率の高い高齢者の方々を中心に県として準備を始めますので、積極的な接種をご検討ください。

新型コロナウイルスに関する厚生労働省、国立感染症研究所、兵庫県の情報が兵庫県立健康科学研究所感染症部のホームページ (https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html) からご覧になれます。

*4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。



定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

定点あたり患者数の上位10位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	5.83	5.70	+0.13	5位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.22	0.26	-0.04
2位	咽頭結膜熱	0.38	0.34	+0.04	7位	水痘	0.10	0.05	+0.05
3位	突発性発しん	0.34	0.29	+0.05	8位	手足口病	0.09	0.19	-0.10
4位	流行性角結膜炎	0.31	0.31	±0.00	9位	流行性耳下腺炎	0.06	0.05	+0.01
5位	RSウイルス感染症	0.22	0.17	+0.05	10位	伝染性紅斑	0.02	0.02	±0.00

全数把握感染症(すべての医療機関から報告を求める感染症です)

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 17人 (保健所: 神戸市6人、尼崎市2人、姫路市1人、西宮市2人、明石市2人、宝塚管内1人、加古川管内1人、豊岡管内1人、朝来管内1人)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2人 (①神戸市; HUS; 女性50歳代; 便でのペロ毒素の検出; 感染地域: 兵庫県; 感染経路: 経口感染、②尼崎市; 有症者; 女性20歳代; O157 VT1VT2; 感染地域: 国内; 感染経路: 経口感染) (累積報告数21人; 有症者13人、HUS1人)

4 類感染症	レジオネラ症 1人 （龍野保健所管内；肺炎型；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：その他）
5 類感染症	アメーバ赤痢 1人 （明石市；腸管アメーバ症；男性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：経口感染）
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1人 （加東保健所管内；男性 70 歳代； <i>Enterobacter aerogenes</i> ；感染地域：不明；感染経路：不明）
	急性脳炎 1人 （神戸市；ヒトヘルペスウイルス 6；男性 0 歳；感染地域：兵庫県；感染経路：その他）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人 （尼崎市；男性 90 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）
	侵襲性肺炎球菌感染症 1人 （姫路市；女性 70 歳代；感染地域：不明；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明）
2022 年第 21 週までに診断されたものの報告遅れ	梅毒 4人 （①神戸市；早期顕症梅毒 I 期；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、②神戸市；早期顕症梅毒 I 期；女性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：性的接触、③尼崎市；早期顕症梅毒 I 期；男性 60 歳代；感染地域：国内；感染経路：異性間性的接触、④西宮市；早期顕症梅毒 I 期；男性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触）
	結核 3人
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1人 梅毒 3人

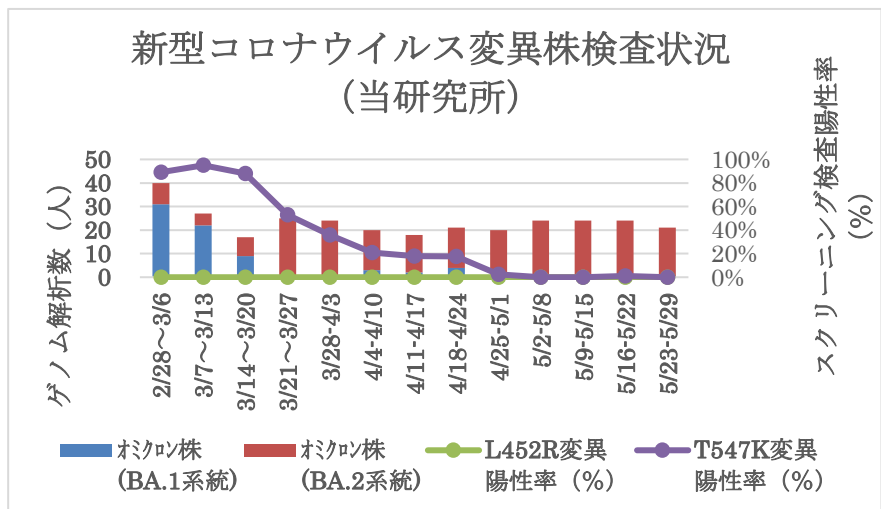
検査情報（兵庫県立健康科学研究所）

当研究所では、県内の新型コロナウイルス変異株の発生動向を把握するために、変異株 PCR 検査やゲノム解析を行っています。

1 月以降に流行が始まったオミクロン株は、当初はすべて T547K 変異を持つ BA.1 系統でしたが、3 月以降に急激な BA.2 系統への置き換わりが進み、第 18 週（5/2-5/8）には T547K 変異スクリーニング検

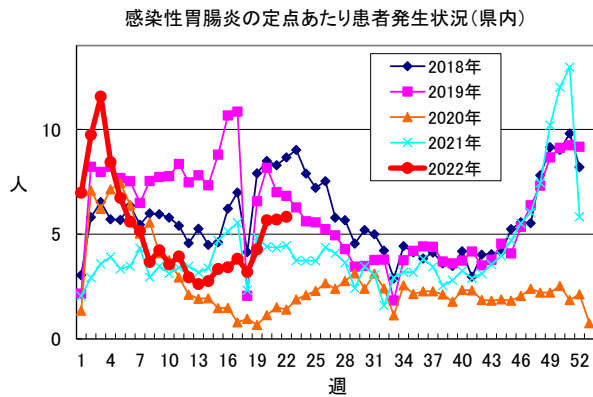
査ですべて陰性になり、ゲノム解析の結果もすべて BA.2 系統になりました。これ以降も BA.2 系統が主流となっている状況等が続いています。

今後は新たな変異株として注目されている BA.4、BA.5 等について L452R 変異のスクリーニング検査やゲノム解析を通じて監視していく予定です。



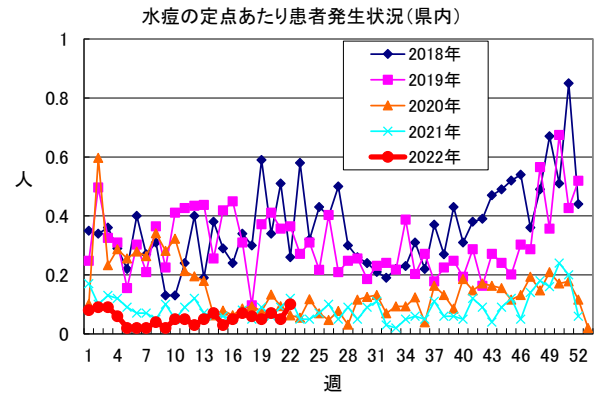
目で見る動向（県内）

感染性胃腸炎



定点あたりの患者数は 5.83 人（先週 5.70 人）で増加しています。施設・学校における感染症集団発生状況では、今週 1 件（先週 1 件）の集団発生が報告されています。

水痘



龍野保健所管内で、定点あたり患者数が注意報レベル開始基準値である 1.0 以上となっています。

この週報はホームページ（https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html）にも掲載しています。

また、<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。